



年 組 名前

道新 ワークシート

宿題にAIブレイキ

夏休み前急ぎよ公表

国内外で加速度的に普及する生成AI（人工知能）を巡り、文部科学省が学校における活用指針をまとめた。夏休み前に方向性を示す必要に迫られ「突貫工事」の策定作業で、賛否渦巻く現状も反映して抑制的な内容となった。新技術を使いこなす指導を重視するのか、深い思考の機会を確保するため距離を置くのか。教育効果の議論は緒に就いたばかりだ。

文科省が学校向け指針

「ドラえもんは未来から来たロボットの猫」。6月13日、千葉県印西市立原山小の授業で5年生が生成AIのツールに国民的アニメに関する質問を入力すると、数秒でこんな答えが返ってきた。おおむね正しいが、作者名は「藤本つとむ」と誤りも含まれた。児童は驚きの表情を見せた。授業はプログラミング教育を推進するNPO法人

「みんなのコード」（東京）が協力。独自開発のツールを利用してAIの利便性を体感する一方、間違いが少なくないと知ることにも目的にした。

法人の利根川裕太代表理事は「授業の中でリスクを踏まえた適切な利用法を教えるのが重要」と話し、普及を見通して子ども時代から慣れていく必要性を指摘する。

現時点で、小中高の授業で生成AIを使うケースは、一部学校での体験的活動にとどまるとみられる。だが文科省は、多くの宿題や読書感想文が課される夏休みを目前に「使い方を示さない」と無秩序な状態になる」（同省関係者）と判断。指針策定へ4月初めに実質

文部科学省指針が示す生成AIの教育効果

メリットや有効な活用法	デメリットや不適切な活用法
<ul style="list-style-type: none"> ● グループ討論でアイデアの参考になれば議論が深まる ● 英会話の相手として使え、自然な会話表現へ改善できる ● 高度なプログラミングの参考になる ● テスト問題や運動会き率のたためし業務効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 批判的思考や創造性を損なう可能性 ● 夏休みの日記やコンクール応募作品にそのまま使うのは自分のためならず、不正行為 ● 定期テストや小テストで子どもに使わせるのは、成績評価にふさわしくない ● 個人情報入力漏えいリスクが生じる。生成物のホームページ掲載は著作権侵害の恐れ



的作業を始め、わずか3カ月で公表にこぎ着けた。途中で与党の文教族議員らから注文が相次いだ。積極活用を求める声や「子どもには早い」といった否定的意見が交錯し、指針には「多大な利便性」「使いこなす力を育てる」といった前向きな表現だけでなく、「限定的利用から始める」「小学生の利用には慎重な対応」とブレイキを踏むような文言が並んだ。想像を超える速度で進む技術に期待と不安が入り交じるのは学校現場も同じ。

大手予備校の河合塾が高校教員ら139人に尋ねたアンケートでは、生成AIの学習への利用は「自由に使うべき」が31%で、「禁止するべき」「一部制限を設けるべき」は計58%だった。神奈川県立高校の教員は「新技術が存在する以上、対応の仕方を教えなければならぬ」との立場だ。「生徒がレポートを作成する場面なら、事実関係の確認にAIを使い、意見を表明する部分は自ら書き込むやり方があるだろう」と話す。



年 組 名前

道新で ワークシート

① 文部科学省が、生成AIについて学校向けの指針を夏休み前に急ぎよ公表した理由として、適当なものを次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 夏休み中に積極的に利用して、使い方を学んでほしいと考えたから。
- イ 夏休み中の利用を禁止し、トラブルを防ぎたかったから。
- ウ 夏休み前に、AIの使い方についての議論がまとまったから。
- エ 夏休みの課題をする際に、使い方が無秩序な状態になると判断したから。

② あなたは生成AIを学習に利用すべきだと思いますか。
根拠として新聞の記事を引用しながら、100字程度で書きなさい。